

向日市商工会情報

新春をお祝い

申し上げます

昨年は本商工会に対し

格別のご尽力を賜り

誠にありがとうございました

本年も相変わりにませ

一層のご協力とご鞭撻を

お願い申し上げます

平成二十九年 元旦

向日市商工会

会長 高橋信吾

副会長 小森健護

副会長 築山剛

役員一同



新春のごあいさつ

向日市商工会
会長 高橋 信吾



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、新年をお健やかに
お迎えのこととお喜び申し上げます。

平素は、商工会の運営につきまして格別のご支
援、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、向日市内におきましては平成27年5月、
市の中心市街地である阪急東向日駅近隣の大型商
業施設閉店に伴い、人の流れが大きく変わり中心
市街地への集客に大きな影響を与えています。

現在その跡地では、商業施設、市役所の窓口機
能及び約300戸のマンションを有する大規模複
合施設の建設が進められており、阪急東向日駅付
近のにぎわいが戻ってくることに大きな期待が持
てます。

また、今年度は昨年引き続き「プレミアム商
品券」事業を実施いたしております。

前回とは異なり国からの助成制度がございませ
んのので10%のプレミアムとし、発行金額を55
00万円といたしました。

また、1人2セットまでの購入とし、向日市在
住の方からの往復はがきによる申込とさせていた
だきました結果、6625通の購入申込があり、
市民の皆様のプレミアム商品券への関心の高さが
伺えました。

向日市商工会館の老朽化対策では、向日市が現
在「向日市商工業振興センター」の建設を進めら
れており、3月中旬に完成予定と聞いております。

当会は以前から商工会事務所の入居を要望して
おり、これからも向日市と交渉して参ります。

結びに、本年が会員の皆様方にとりまして、輝
かしい発展の年になると共に、ご健勝を心からご
祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



共生社会の実現に向けて

京都府知事

山田 啓二



府民の皆さま、あけましておめでとうございます。

昨年を振り返って

昨年は、地方創生の動きが本格化する中、オール京都の取り組みで文化庁の京都への全面的移転が決定するとともに、京都丹波高原国定公園の誕生と「京都モデルフォレスト運動」の10周年を祝い、森の京都博の中核イベントとして第40回全国育樹祭を実施するなど、京都の地域力を生かした取り組みを積極的に展開することができました。また、京都を縦貫する自動車道が京丹後市まで開通し、観光客も過去最高の賑わいを記録する中、京都舞鶴港にも多くのクルーズ船が来港するなど、観光の面でも充実した一年になりました。改めて関係の皆さまにお礼を申し上げます。

しかし一方では、熊本地震や鳥取県中部地震など災害が相次ぐとともに、平成27年の国勢調査の結果からも、少子高齢化や東京一極集中の進行が改めて確認されました。また、北陸新幹線のルート選定過程でもクローズアップされた地域間格差の問題や、増加する非正規雇用の問題、子どもの貧困問題など、社会構造の変化から生じる問題も深刻化しつつあります。

さらに、国際情勢を見ても、保護主義的な思想の台頭が顕著になるなど、様々な観点から二極化が進んでおり、その中で争いの種が芽を出し始めていることに危惧を覚えています。また、昨年、神奈川県相模原市の障害者施設で起きた痛ましい事件は衝撃的でしたが、他者に対する尊重の念を忘れた事件も増加してきているような気がするのでしょうか。

共生こそ京都の文化

今年京都は、地域創生戦略に基づき、「文化創生」により京都の価値を発信していこうとしています。私は、

この京都の「文化」の中にこそ、こうした時代に立ち向かう大きな答えがあると信じています。

京都は長い歴史に彩られた地域です。丹後王国として栄えた北部、平城京から恭仁京や長岡京など、遷都を繰り返しながら平安京に至った南部、豊かな森の恵みで都を支えた中部。それぞれの地域が個性を生かし、互いを支え合って京都をつくっています。近年、環境問題や少子高齢化など持続可能性が問題になりますが、まさに京都の文化は持続可能な文化と言えます。

もともと平安京という都自体、唐の都長安を模したものでありますが、外国から輸入した文化を日本独特の文化へと育むことにより、千年の都として「歴史との共生」を果たしてまいりました。さらに、千年もの間、都であり続けたという持続可能性を支えたのが、京都議定書の中に代表される「環境との共生」です。

また、仏教各宗派の本山が多く存在するとともに、日本で最初のキリスト教主義の大学が京都で開学されるなど、多様な思想が共生する京都には、伝統産業から先端産業まで幅広い産業が共生し、さらには、47の大学が個性を持ちながら共生しています。

そして、門掃きや打ち水などに見られるように、人々が隣人に対する思いやりを持って接する京都の文化は、まさに、「共生の文化」というべきものだと思います。

海と人、森と人、お茶と人と、京都府は新しい共生の道を探ってきました。また、学研都市では、文化と学術の共生が花開こうとしています。この共生という文化こそ、京都が今世界に問わなければならない文化ではないでしょうか。

若者も高齢者も、女性も男性も、障害者も健常者も、ともに支え合って、お互いの個性を尊重することができてこそ、はじめて持続可能な社会が成立し、将来に向けて共に発展する可能性が生まれるのではないのでしょうか。

右か左か、黒か白かといった二者択一の対立と争いの中で、排斥と淘汰が繰り返される世の中だけは後世に残したくありません。様々なものが共生する中で、未来に向けて発展することのできる社会こそが、京都に生きる私たちが次の世代に託すべきものではないのでしょうか。

「もうひとつの京都」

「もうひとつの京都」では、「海」「森」に続き、いよ

いよ「お茶の京都」の年を迎えます。舞台となる山城地域は、「日本茶のふるさと」として、古くからお茶の文化を支え、育んできた地域です。家族団らんの象徴であり、一期一会の文化の源であるお茶、そしてそれを支える山城の景観。ここにも「共生の文化」が息づいています。「Discover Premium Green」のコンセプトのもと、「お茶の京都博」で世界に京都文化を発信する年にしたいと思います。

そして、「もうひとつの京都」セカンドステージを牽引する各地域のDMOのもと、地域やその地に暮らす人々の結びつきを生かし、共に支え合って生きていく「共生の観光」を育んでいきたいと思っています。

共生社会の実現へ

こうして本年、京都府は、子育てや医療、産業、労働、環境、観光などあらゆる分野で、「共生」をキーワードとして、府民の皆さまの生活に寄り添った施策を進めてまいりたいと考えております。「交流」と「文化」から生み出される「京都力」を存分に発揮し、京都から世界へ、100年後、200年後の未来へとつながっていく新たな「共生社会」の実現に向け、共に歩んでまいりましょう。

この一年の、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

向日市長

安田 晋



新年あけましておめでとうございます。

向日市商工会の皆さまにおかれましては、輝かしい新年を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、平素より高橋会長をはじめ、会員の皆さまには市政の推進に温かいご理解とご協力を賜っておりますこと

に、厚くお礼申し上げます。

さて、前年を振り返りますと、マイナス金利の導入や消費税引き上げの延期、アメリカ大統領選挙など、国内外の政治、経済が大きく変革した一年でありました。また一方で、南アフリカ大陸で初めて開催されたリオオリンピック・パラリンピックでは、日本選手が数多くのメダルを獲得するなど、日本中が熱気と感動に包まれた年でもありました。

向日市におきましては、昨年3月に「ふるさと向日市創生計画」を策定し、ご当地ナンバープレートや、シリーズ化した「むこう、むこう。」のポスター、さらには広報誌を刷新するなど、戦略的に情報発信するとともに、コミュニティバスや中学校給食の導入に向けた検討もおこない、新たな一歩を踏み出した年でありました。

こうした中、向日市商工会におかれましては「桜まつり」の開催やプレミアム商品券「ひまわり得トク商品券」の発行など、地域経済の活性化にご尽力をいただいておりますことに、深く感謝を申し上げます。

本年も商工会の皆様と連携を図りながら、本市の商工業の発展に努めてまいりますとともに、「向日市ふるさと検定」の実施をはじめ、計画に掲げた事業をしっかりと実行し、向日市が大きく飛躍できる年にしてまいります。

そのためにも、昨年に引き続きスピード感を持って、そして市民の皆様へ「変化」が伝わるよう、「見える」施策を積極的に展開し、すべての市民の皆様が向日市のことを「ふるさと」であると思っただけできるよう、職員と一丸になり、まちづくりをすすめてまいりますので、引き続き皆さま方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、新たな一年が皆さまにとりまして希望に満ちた幸せ多き年になりますことを心からお祈り申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

乙訓地域商工会広域連携協議会主催 「創業塾」のお知らせ

乙訓地域商工会広域連携協議会では、創業間もない方、もしくは創業を予定されている方を対象に、セミナーを開催します。

創業にあたり、「何から手をつけてよいかわからない」、「どんな支援施策があるのか、どこに相談してよいかわからない」などといった疑問や悩みを抱えている方は是非ご参加ください。

連続5回の講義では、最終目標となる創業計画書作成に向けて、経営に関わるノウハウを習得しながら、金融機関等からの融資制度に関する説明会も含め、IT活用術や労務に関する基礎知識を学ぶことができます。

関心をお持ちの方がおられましたら、是非ご案内いただき、向日市商工会までご連絡ください。

- 日 時：1月28日(土)、2月 4日(土)、11日(祝・土)、18日(土)、25日(土)
全て午前10時～午後5時
- 場 所：長岡京市立産業文化会館 3階
- 講 師：中小企業診断士 伊吹 秀之 氏 他
- 定 員：先着20名
- 参加費：5,000円

建設業部会主催セミナー

1月30日(月)にセミナーを開催します。
詳細は、別添の案内チラシをご覧ください。

サービス部会主催会員交流会

サービス部会では、部会の枠を超えて、向日市商工会の会員同士がお互いの事業を知ったり、ビジネスのヒントを得たり、人脈を広げるなど、多種多様な事業所の方が集える場を企画しました。

会社案内やチラシ等のPRツールもご持参の上、ご参加ください。多数のご参加をお待ちしています。

- 日 時：1月18日(水) 午後6時30分～
- 場 所：向日市商工会館 3階

詳細は、別添の案内チラシをご覧ください。

親子竹馬教室&第15回たけうま全国大会

向日市商工会青年部は、親子竹馬教室と第15回たけうま全国大会を向日市観光協会協賛で開催いたします。多数のご参加をお待ちしています。

詳細は、向日市観光協会のホームページにも記載しております。

- 日 時：2月5日(日) (小雨決行)
親子竹馬教室：午前9時～
たけうま全国大会：受付午前9時30分～
- 参加費：教室参加は300円(材料費の一部)
：大会参加は無料
- 場 所：第2向陽小学校グラウンド

1月の予定表

日 時	行 事 名	場 所	内 容
1月5日(木) 午後5時	新春年賀 交歓会	バンビオ 1番館	乙訓2市1町商工会合同新春年賀交歓会
1月4日(水)、17日(火) 午後1時～午後4時30分	税務相談	商工会館	税理士が税務に関する相談に応じます 担当:松本 克彦 税理士 相談無料・秘密厳守
1月17日(火) 午後5時	第9回 理事会	商工会館	理事会後、市長等と商工会役員との懇談会 (午後6時より)
1月18日(水) 午後6時30分～	サービス部会主催 会員交流会	商工会館	交流会&名刺交歓会
1月28日(土) 午前10時～午後4時	創業セミナー	長岡京市立 産業文化会館	創業塾(5回連続講義) 担当:伊吹 秀之 氏
1月30日(月) 午後6時～	建設業部会 セミナー	商工会館	逆境からの挑戦 講師:山手 勝 氏
競輪のない日 1日(日)			